

安全に関する改善事例

記入日：2005年 10月 20日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者：

| ダム名 | 所在地県名 | 発注者 | 型式 | ダム諸元 | | |
|---------|-------|------------|------------|---------|---------|----------|
| | | | | 堤高(m) | 堤頂長(m) | 堤体積(千m3) |
| 小倉ダム | 新潟県 | 北陸農政局 | R | 64 | 236 | 1,000 |
| 設計・施工区分 | 工種 | 想定される事故の種類 | 想定される事故の要因 | 危険作業の種類 | 設計変更の有無 | |
| 施工 | ダム土工 | 交通事故 | 人的要因・設備要因 | 運搬 | 有：(無) | |

改善の概要：

幅員が狭く、見通しの悪いカーブをダンプ運搬する際、対面通行の安全を確保するために、誘導員を配置する従来方法に替えて対向車の有無を確認できるセンサーを設置した。

特許の有無

有：(無)

メリット：

天候・時間に関わらず、対向車両の確認がとれる。
交通誘導員を配置しないので、交通誘導員が被災する事故が発生しない。

デメリット：

電源供給されていない場所での設置のためコストが高くなった。
車両の大きさによって感知分けが困難である。

改善前

(略図または写真)



改善後

(略図または写真)

